

1. 単元 随想「カフェの開店準備」 小説「山月記」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・漢字や語彙を正しく身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現に注意して随想を読み、内容を的確に捉える。 ・小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ① 漢字や語彙を正しく身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 ② 表現に注意して随想を読み、内容を的確に捉えることができる。 ③ 小説を読むことをとおして、自分とは何か、人間とは何かという問題について考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 計画的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/8 -	「山月記」 (中島 敦)	1	教科書「山月記」を読む。 NHK for school 高校 現代文 山月記を視聴する。		①④
2 5/11 -		2	国語便覧で「中島敦」を調べる。 語句の意味調べをする。	意味調べのプリントを提出（登校日）	④
3 5/15 -	「カフェの開店準備」	3	「カフェの開店準備」問題プリントの答え合わせ	プリント解答後、画像をclassiで提出。	②④
4 5/18 -	漢字の練習①	4	問題プリントを解く。	プリント提出（登校日）	①④
5 5/20 -	読書	5	読書	未来手帳に記入する。	①④
6 5/22 -	「山月記」	6	「名人伝」を読む。 インターネットサイト「青空文庫」にアクセスする。	Classiによる確認テスト	① ③ ④
7 5/25 -	漢字の練習②	7	問題プリントを解く。	プリント提出（登校日）	①④
8 5/27 -	問題集	8	プライムの小テスト	Classiによる確認テスト	①④

高森高等学校 3 学年「古典 B」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 児の飴食ひたること（沙石集） (2) 雑説（韓愈）

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・古語や漢文重要語を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・困難に対処する知恵や機転の面白さを読み取り、味わう。 ・漢文独特の比喩表現の巧みさを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ①古語や漢文重要語を正しく理解することができる。 【思考・判断・表現】 ②困難に対処する知恵や機転の面白さを読み取り、味わうことができる。 ③漢文独特の比喩表現の巧みさを理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 (5/7)	児の飴食ひたること（沙石集）	1	「児の飴食ひたること」プリントを解く。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	②
2 (5/12)		2	「児の飴食ひたること」プリントの丸付けをする。 重要語の確認をする。（パワーポイント）	プリント解答後、写真を Classi で提出。	② ①
3 (5/14)	雑説（韓愈）	3	「雑説」（古典 B 教科書 p284・285）本文をノートに写す。	ノート記入後、写真を Classi で提出。	④
4 (5/19)		4	「雑説」を書き下す。 重要語の確認をする。（パワーポイント）	ノート記入後、写真を Classi で提出。	①
5 (5/21)		5	「雑説」プリントを解く。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	③
6 (5/26)		6	「雑説」プリントの丸付けをする。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	③
7 (5/28)	児の飴食ひたること・雑説の復習	7	5 月中の学習を振り返り、ノートの整理をする。	疑問点を Classi で回答。	④

1. 単元 「中世社会の成立」 (3) 鎌倉幕府の誕生 (4) 執権による政治

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 武士の登場から平氏政権の成立、鎌倉幕府の機構や将軍と御家人の関係、武士の生活について理解する。 ・ 執権政治の展開や承久の乱の歴史的意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活について考察する。 ・ 承久の乱がおこった歴史的背景や、乱に勝利した幕府が武家優位の支配体制を築いたことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 学習計画を立てて実施し、主体的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ① 武士の登場から平氏政権の成立、鎌倉幕府の機構や将軍と御家人の関係、武士の生活について理解できる。 ② 執権政治の展開や承久の乱の歴史的意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 ③ 鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活について考察できる。 ④ 承久の乱がおこった歴史的背景や、乱に勝利した幕府が武家優位の支配体制を築いたことを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 学習計画を立てて実施し、主体的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 0507	武士の登場	1	NHK 高校講座日本史「武士の登場」を見る。	Classi による確認テスト	①
第2回 0511	平氏政権の成立	2	NHK 高校講座日本史「平氏政権の成立」を見る。	classi による確認テスト	①
第3回 0514	鎌倉幕府の誕生	3	NHK 高校講座日本史「鎌倉幕府の誕生」を見る。	classi による確認テスト	①
第4回 0518	源平の争乱 鎌倉殿と守護・地頭	4	教科書 P66～P67 を読む。 ワークシート P47～P48 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワークシートを点検	① ⑤
第5回 0521	幕府の成立 将軍と御家人 武士の生活	5	教科書 P68～P69 を読む。 ワークシート P49～P51 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワークシートを点検	③ ⑤

第6回 0525	北条氏の台頭 承久の乱	6	NHK 高校講座日本史「執権による政治」を見る。 教科書 P70～P71 を読む。 ワークシート P52～P53 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワーク シートを点検	② ⑤
第7回 0528	執権政治の確立 武士の土地支配	7	教科書 P72～P73 を読む。 ワークシート P54～P55 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワーク シートを点検	④ ⑤

1. 単元 「中世社会の成立」 (3) 鎌倉幕府の誕生 (4) 執権による政治

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 武士の登場から平氏政権の成立、鎌倉幕府の機構や将軍と御家人の関係、武士の生活について理解する。 ・ 執権政治の展開や承久の乱の歴史的意義について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活について考察する。 ・ 承久の乱がおこった歴史的背景や、乱に勝利した幕府が武家優位の支配体制を築いたことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 学習計画を立てて実施し、主体的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ① 武士の登場から平氏政権の成立、鎌倉幕府の機構や将軍と御家人の関係、武士の生活について理解できる。 ② 執権政治の展開や承久の乱の歴史的意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 ③ 鎌倉幕府の機構の特色や武士の生活について考察できる。 ④ 承久の乱がおこった歴史的背景や、乱に勝利した幕府が武家優位の支配体制を築いたことを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 学習計画を立てて実施し、主体的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 0512.	鎌倉幕府の誕生	1	NHK 高校講座日本史「鎌倉幕府の誕生」を見る。	Classi による確認テスト	①
第2回 0519.	源平の争乱 鎌倉殿と守護・地頭	2	教科書 P66～P67 を読む。 ワークシート P47～P48 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワークシートを点検	① ⑤
第3回 0520.	幕府の成立 将軍と御家人 武士の生活	3	教科書 P68～P69 を読む。 ワークシート P49～P51 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワークシートを点検	① ⑤
第4回 0526.	北条氏の台頭 承久の乱	4	NHK 高校講座日本史「執権による政治」を見る。 教科書 P70～P71 を読む。 ワークシート P52～P53 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワークシートを点検	② ⑤

第5回 0527	執権政治の確立 武士の土地支配	5	教科書 P72～P73 を読む。 ワークシート P54～P55 の() に適語を記入する。	classi による確認テスト 登校日 5/29 にワーク シートを点検	④ ⑤
-------------	--------------------	---	--	--	------------

高森高等学校 3年1組「政治経済」シラバス（5月分）

1. 単元 1. 民主政治の基本原則 2. 日本国憲法の基本原則

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 日本の政治の現状や特徴、成り立ちについて理解する。 - 憲法により国民に権利や自由が保障されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 学んだことを自分の言葉でまとめ、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な視点から社会の諸事象について考察し、自分の意見をまとめることができる。	【知識・技能】 ①現代の日本及び世界の政治の特徴を理解できる。 ②法の役割や意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 ③学習内容を踏まえ、現代の諸事象と合わせて自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④出された課題にきちんと取り組んでいる。 ⑤様々な情報を収集し、自分の考えをまとめることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8	民主政治の成立	1	- 教科書 p 6～p 11を読む - NHK高校講座「民主政治の成立」を聴く	・Classiによる確認テスト	①
第2回 5/12	基本的人権の確立	2	- 教科書 p 12～p 14を読む - 国際人権規約についてレポートにまとめる	・レポート（A4 1枚、パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	⑤
第3回 5/15	現代の民主政治	3	- 教科書 p 15～p 17を読む - NHK高校講座「現代の民主政治」を聴く	・Classiによる確認テスト	④
第4回 5/19	世界のおもな政治体制	4	- 教科書 p 18～p 23を読む - 議院内閣制、大統領制、権力集中体制の内容についてNHK高校講座の内容も踏まえてレポートにまとめる	・レポート（A4 1枚。パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	③

第5回 5/20	日本国憲法の制定 と基本原理	5	・教科書 p 24～p 29 を読む ・NHK 高校講座「日本国憲法の制定」を聴く	・Classi による確認テスト	②
第6回 5/22	基本的人権の保障	6	・教科書 p 30～p 42 を読む - NHK 高校講座「基本的人権の保障」「新しい人権」を聴く ・新しい人権が生まれた背景についてレポートにまとめる	・Classi による確認テスト - レポート（パソコン・手書きどちらでも可。A4 1枚、登校日に提出）	③
第7回 5/26	平和主義	7	・教科書 p 43～p 46 を読む - NHK 高校講座「平和主義」を聴く ・沖縄が抱えている問題について、具体的な事例を挙げ、自分の考えをレポートにまとめる	・Classi による確認テスト ・レポート（パソコン・手書きどちらでも可。A4 1枚、登校日に提出）	⑤
第8回 5/27	1 節、2 節のまとめ	8	・教科書 p 6～p 46 を読み、内容を整理する	・Classi による確認テスト	④

高森高等学校 3年2組「政治経済」シラバス（5月分）

1. 単元 1. 民主政治の基本原 2. 日本国憲法の基本原

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 日本の政治の現状や特徴、成り立ちについて理解する。 - 憲法により国民に権利や自由が保障されていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 学んだことを自分の言葉でまとめ、説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な視点から社会の諸事象について考察し、自分の意見をまとめることができる。	【知識・技能】 ①現代の日本及び世界の政治の特徴を理解できる。 ②法の役割や意義について理解できる。 【思考・判断・表現】 ③学習内容を踏まえ、現代の諸事象と合わせて自分の考えをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④出された課題にきちんと取り組んでいる。 ⑤様々な情報を収集し、自分の考えをまとめることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7、	民主政治の成立	1	・教科書 p 6～p 11 を読む ・NHK高校講座「民主政治の成立」を聴く	・Classi による確認テスト	①
第2回 5/11、	基本的人権の確立	2	・教科書 p 12～p 14 を読む ・国際人権規約についてレポートにまとめる	・レポート（A4 1枚、パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	⑤
第3回 5/14、	現代の民主政治	3	・教科書 p 15～p 17 を読む ・NHK高校講座「現代の民主政治」を聴く	・Classi による確認テスト	④
第4回 5/18、	世界のおもな政治体制	4	・教科書 p 18～p 23 を読む ・議院内閣制、大統領制、権力集中体制の内容についてNHK高校講座の内容も踏まえてレポートにまとめる	・レポート（A4 1枚。パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	③

第5回 5/20	1節のまとめ	5	・教科書 p 6～p 23を読み、 1節の内容を整理する	・Classiによる確認テスト	④
第6回 5/21	日本国憲法の制定 と基本原理	6	・教科書 p 24～p 29を読む ・NHK高校講座「日本国憲法の制定」を聴く	・Classiによる確認テスト	②
第7回 5/25	基本的人権の保障	7	・教科書 p 30～p 42を読む NHK高校講座「基本的人権の保障」「新しい人権」を聴く ・新しい人権が生まれた背景についてレポートにまとめる	・レポート（パソコン・手書きどちらでも可。A4 1枚、登校日に提出）	③
第8回 5/27	平和主義	8	・教科書 p 43～p 46を読む NHK高校講座「平和主義」を聴く ・沖縄が抱えている問題について、具体的な事例を挙げ、自分の考えをレポートにまとめる	・Classiによる確認テスト ・レポート（パソコン・手書きどちらでも可。A4 1枚、登校日に提出）	⑤
第9回 5/28	2節のまとめ	9	・教科書 p 24～p 46を読み、2節の内容を整理する	・Classiによる確認テスト	④

1. 単元 (1) データの分析 (2) 場合の数と確率 (3) 図形の性質 (4) 整数の性質
(5) 式と証明 (6) 複素数と方程式 (7) 図形と方程式

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 定理の内容や用語について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 - 公式を用いて基本的な問題を解くことができる - 日常における数学の例を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画的に学習に取り組むことができる	【知識・技能】 ①定理の内容や用語について理解できている 【思考・判断・表現】 ②公式を用いて基本的な問題に取り組むことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ③計画的に学習に取り組むことができ、提出物を期日までに提出できている

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7	データの分析	1	・ベーシックスタイル P31 問題番号 62～65 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ③
第2回 5/11	場合の数と確率	2	・ベーシックスタイル P35 問題番号 68～72 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第3回 5/12	場合の数と確率	3	・ベーシックスタイル P35 問題番号 73～76 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第4回 5/14	図形の性質	4	・ベーシックスタイル P45 問題番号 93～96 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第5回 5/18	整数の性質	5	・ベーシックスタイル P51 問題番号 105～111 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③

第6回 5/19	式と証明	6	・ベーシックスタイル P58 問題番号 120～124 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第7回 5/21	複素数と方程式	7	・ベーシックスタイル P65 問題番号 135～138 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第8回 5/25	複素数と方程式	8	・ベーシックスタイル P65 問題番号 136～142 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第9回 5/26	図形と方程式	9	・ベーシックスタイル P71 問題番号 151～153 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第10回 5/28	図形と方程式	10	・ベーシックスタイル P71 問題番号 154～156 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③

1. 単元 (1) データの分析 (2) 場合の数と確率 (3) ベクトル

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・定理の内容や用語について理解することができる 【思考力, 判断力, 表現力等】 ・公式を用いて基本的な問題を解くことができる ・日常における数学の例を考えることができる 【学びに向かう力, 人間性等】 ・計画的に学習に取り組むことができる	【知識・技能】 ①定理の内容や用語について理解できている 【思考・判断・表現】 ②公式を用いて基本的な問題に取り組むことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ③計画的に学習に取り組むことができ、提出物を期日までに提出できている

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8	データの分析	1	・ネットや身近なものについてデータを収集し相関係数を計算する	・Classi で計算結果を提出	① ② ③
第2回 5/15	データの分析	2	・ネットや身近なものについてデータを収集し相関係数を計算する	・Classi で計算結果を提出	① ② ③
第3回 5/20	場合の数と確率 ベクトル	3	・さいころを30回振り出た目を記録する ・ベーシックスタイル P103 問題番号 224~226 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第4回 5/22	場合の数と確率 ベクトル	4	・さいころを30回振り出た目を記録する ・ベーシックスタイル P103 問題番号 227, 228 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③
第5回 5/27	場合の数と確率 ベクトル	5	・さいころを30回振り出た目を記録する ・ベーシックスタイル P103 問題番号 229, 230 を解く	・Classi での確認テスト ・ノートの提出 (5/29)	① ② ③

高森高等学校3学年「化学」シラバス（5月分）

1. 単元 4 編無機物質

2. 単元の目標	3. 評価規準
【【知識及び技能】】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【知識・技能】 1 周期表の構造と希ガスについて理解できる。 2 ハロゲンについて理解できる 3 ハロゲン化物にて理解できる。 4 酸素の単体について理解できる。 5 酸素の化合物について理解できる。 6 窒素の単体と化合物について理解できる。 7 リンの単体と化合物について理解できる。 8 炭素の単体と化合物について理解できる。 9 ケイ素と気体の発生法について理解できる。 【思考・判断・表現】 10 日常生活や実際の物質と関連付けて理解することができる。 11 授業評価アンケートによって自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 12 課題に主体的に取り組み、取り組んだ内容を記録し、表現し、提出することができる。

4. 授業計画

(1) 準備物

教科書、ノート（ルーズリーフは不可、専用のものをつくること。登校日等集める可能性があります。）

(2) 確認テスト、授業評価アンケート

毎回ではありませんが、授業後等に Classi で配信しますので必ず回答すること。

(3) ノートの提出先

Classi コンテンツボックス＞2020 年度 3 年 2 組 化学 課題提出用＞日付フォルダ

(4) 写真の名前

6 桁の出席番号とする。例) 3 年 2 組 4 番 ➡ 030204

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
1 0507	教科書 P 198 - 202	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 339、340 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み状況による。	1 10 11 12
2 0512	教科書 P 203 - 205	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 341、342、343 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み	2 10 11 12

		携帯電話等でとってアップロードする。	状況による。	
3 0514、	教科書 P 2 0 6 - 2 0 7	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 344 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	3 1 0 1 1 1 2
4 0519、	教科書 P 2 0 8 - 2 1 1	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 345、346 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	4 1 0 1 1 1 2
5 0520、	教科書 P 2 1 2 - 2 1 5	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 347、348 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	5 1 0 1 1 1 2
6 0521、	教科書 P 2 1 6 - 2 1 9	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 3 4 9、3 5 0 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	6 1 0 1 1 1 2
7 0526、	教科書 P 2 2 0 - 2 2 3	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 351、352、353 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	7 1 0 1 1 1 2
8 0527、	教科書 P 2 2 4 - 2 2 7	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 3 5 4、3 5 5 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	8 1 0 1 1 1 2
9 0528、	教科書 P 2 2 8 - 2 2 9	1 範囲の教科書を読む 2 ノートに要点をまとめる。 3 セミナー化学を解く、問題番号 356、357、358 4 Classi コンテンツボックスに該当ページを 1 枚 携帯電話等でとってアップロードする。	Classi による確認テスト、授業評価アンケート、コンテンツボックス内に提出された取り組み 状況による。	9 1 0 1 1 1 2

1. 単元 第5章 動物の反応と行動

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・動物が外界からの刺激を受け取り、その刺激に応じて反応するしくみを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・刺激に応じて反応するしくみを踏まえて、動物のさまざまな行動について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組み、自分の取り組みを振り返る。	【知識・技能】 ①動物が外界からの刺激を受け取り、その刺激に応じて反応するしくみに関する問いに答えることができる。 【思考・判断・表現】 ②刺激に応じて反応するしくみを踏まえて、動物のさまざまな行動を説明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③計画的に学習に取り組み、振り返り、それを今後の学習に生かすことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7	第1節 ニューロンとその興奮 ①刺激の受容から行動まで/②ニューロンの構造	1	※教科書を読む際は解説動画などを参考に する。 ・教科書 P.214～216 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
第2回 5/11 5/12	③ニューロンの興奮	2 ・ 3	・教科書 P.217～219 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
第3回 5/14 5/18	④興奮の伝導と伝達	4 ・ 5	・教科書 P.220～222 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
第4回 5/19	第1節まとめ	6	・記述課題と振り返りを提出する。	Forms による課題提出と振り返り	② ③
第5回 5/20	第2節 刺激の受容 ①受容器と適刺激	7	・教科書 P.224 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③

第 6 回 5/21 5/25 5/26	② 視覚器	8 ・ 9	・教科書 P.225～229 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
		10	・ P.227 観察&実験「盲斑の検出」を行い、 簡単なレポートを作成する。	登校日（5/29）にレポート提出	②
第 7 回 5/27 5/28	③ 聴覚器・平衡受容器	11 ・ 12	・教科書 P.230～231 を読む。 ・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成 ・振り返りを提出する。	Forms によるミニテスト Forms による振り返り	① ② ③

高森高等学校 3 学年「体育」シラバス（5 月分）

1. 単元 体づくり運動「実生活に生かす運動の計画」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び運動】 自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を継続するための自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができる。	【知識・運動】 自己の体力に関する目標を設定し、目標に応じた運動の計画を立て取り組んでいる。また、新たな課題を発見し、目標を再設定している。 【思考・判断・表現】 自己の課題、それらを合理的に解決するための運動の取り組み方について思考し判断したことを、根拠を示したり、筋道を立てたりして他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保したりしている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/11	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	1	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主
2 5/18	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	2	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主
3 5/25	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	3	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主

高森高等学校 3 学年「体育」シラバス (5 月分)

1. 単元 体育理論「豊かなスポーツライフの設計の仕方」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができる。	【知識】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての問いに答えることができる。 【思考・判断・表現】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての事実や理念、課題を整理し他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/8	生涯スポーツの見方・考え方	1	・NHK 高校講座「生涯スポーツの見方・考え方」視聴 ・教科書 P158～161 を読む ・ノート P134 を解く ・P134 の「考えてみよう」を P135 に記入する	ノート提出	知思主
2 5/15	ライフスタイルに応じたスポーツ	2	・NHK 高校講座「ライフスタイルに応じたスポーツ」視聴 ・教科書 P162～165 を読む ・ノート P136 を解く ・P136 の「考えてみよう」を P137 に記入する	ノート提出	知思主
3 5/22	日本のスポーツ振興	3	・NHK 高校講座「日本のスポーツ振興」視聴 ・教科書 P166～169 を読む ・ノート P138 を解く ・P138 の「考えてみよう」を P139 に記入する	ノート提出	知思主

高森高等学校 3 学年「英語コミュニケーションⅡ」シラバス（5 月分）

1. 単元 The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 単語や表現を理解する。 ・ 本文の概要を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 英語を使って場面にあった表現ができる。 ・ 本文の内容を学んでの感想を英語で書く。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 計画を立て、実施し、取組を振り返る。	【知識・技能】 ①新たに習った単語や表現の仕方を理解することができる。 ②本文の内容を理解し、Guiding questions に答えることができる。 【思考・判断・表現】 ③場面にあった英文を書くことができる。 ④本文の内容を学んでの感想を英語で書くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て実施し取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実（1） 5/11	1	NHK 高校講座 英語コミュニケーションⅡの2学期62回 （12/1）の音声データを聞き、ワークシートを完成させる。その後、理解度チェックを解き、集計画面をスクリーンショットし Classi のコンテンツボックスに提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 （ワークシートは5月29日に提出する。）	① ② ③ ⑤
第2回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレートの苦い現実（2） 5/12	1	NHK 高校講座 英語コミュニケーションⅡの2学期63回 （12/7）の音声データを聞き、ワークシートを完成させる。その後、理解度チェックを解き、集計画面をスクリーンショットし Classi のコンテンツボックスに提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 （ワークシートは5月29日に提出する。）	① ② ③ ⑤

第3回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレート の苦い現実(3) 5/18	1	NHK 高校講座 英語コミュニケ ーションⅡの2学期64回 (12/8)の音声データを聞き、 ワークシートを完成させる。そ の後、理解度チェックを解き、 集計画面をスクリーンショット し Classi のコンテンツボックス に提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 (ワークシートは5月 29日に提出する。)	① ② ③ ⑤
第4回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレート の苦い現実(4) 5/19	1	NHK 高校講座 英語コミュニケ ーションⅡの2学期65回 (12/14)の音声データを聞き、 ワークシートを完成させる。そ の後、理解度チェックを解き、 集計画面をスクリーンショット し Classi のコンテンツボックス に提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 (ワークシートは5月 29日に提出する。)	① ② ③ ⑤
第5回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレート の苦い現実(5) 5/25	1	NHK 高校講座 英語コミュニケ ーションⅡの2学期66回 (12/15)の音声データを聞き、 ワークシートを完成させる。そ の後、理解度チェックを解き、 集計画面をスクリーンショット し Classi のコンテンツボックス に提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 (ワークシートは5月 29日に提出する。)	① ② ③ ⑤
第6回	The Bitter Truth about Chocolate 甘いチョコレート の苦い現実(6) まとめ 5/26	1	NHK 高校講座 英語コミュニケ ーションⅡの2学期67回 (12/21)の音声データを聞き、 ワークシートを完成させる。そ の後、理解度チェックを解き、 集計画面をスクリーンショット し Classi のコンテンツボックス に提出する。	理解度チェックの結果 ワークシートの内容 (ワークシートは5月 29日に提出する。)	① ② ③ ④ ⑤

高森高等学校 3 学年「英語表現Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 英文の主語を考える (Lesson1)
 (2) 英文の動詞を考える (Lesson2)
 (3) ALT の先生との授業

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・英語と日本語の文の構造の違いを理解し、適切な主語を考える。 ・文型を意識して、適切な動詞を用いる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えたことについて英語で表現する。 ・英語の指示の内容を考え、課題に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、振り返る。	【知識・技能】 ①英語と日本語の文の構造の違いを理解し、適切な主語を考えることができる。 ②文型を意識して、適切な動詞を用いることができる。 【思考・判断・表現】 ③自分の考えたことについて、40語程度の文を書き、音読することができる。 ④英語の指示を理解し、課題に取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て実施し、取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	Lesson 1 Expressing① 5/7	1	教科書 p. 12 の STEP1～STEP3 を仕上げる。STEP3 は p. 112 の語句を参考にしながら、ワークシートに記入する (4/30 に配付)。書き終わった STEP3 を写真で撮影し、Classi のコンテンツボックスに提出する。なお、STEP1 の解答は Classi で配信する。	完成したライティングの内容	③
第2回	ATL のエリカ先生との授業 5/8	2	エリカ先生からの英語の指示を Classi で配信する。指示通りに図形を描き、色を塗る。仕上がった図形を写真で撮り、Classi のコンテンツボックスに提出する。	Classi で提出された作品	④
第3回	Lesson1 5/14, 5/15	3	Lesson1-1 (教科書 p. 8) の例文の音読練習をする。パワーポイント	Classi の確認テストの結果	① ⑤

			トのスライドを見ながら例文を練習する。パワーポイントと音声データは Classi で配信する。また、Classi で確認テストを配信するので、音読練習後、解くこと。	学校再開後の暗唱文テスト（音読）	
		4	Lesson1-2 (教科書 p. 10) の例文の音読練習をする。パワーポイントのスライドを見ながら例文を練習する。パワーポイントと音声データは Classi で配信する。また、Classi で確認テストを配信するので、音読練習後、解くこと。	Classi の確認テストの結果 学校再開後の暗唱文テスト（音読）	① ⑤
第4回	Lesson 1 Expressing② 5/20 -	5	5/7 に皆さんが書いた英文をチェックし、Classi で返信します。チェックされた英文を元に清書を完成させる。その後5回以上音読の練習をする。スラスラ読めるようになったら動画もしくは、ボイスメモなどに音声を保存しておく。学校再開後に採点する。評価の観点を Classi で配信するので、評価の観点を意識して録音すること。	音声データの内容	③ ⑤
第5回	Lesson 2-1 5/21、5/22 -	6	Lesson2-1 (教科書 p. 16) の例文の音読練習をする。パワーポイントのスライドを見ながら例文を練習する。パワーポイントと音声データは Classi で配信する。また、Classi で確認テストを配信するので、音読練習後、解くこと。	Classi の確認テストの結果 学校再開後の暗唱文テスト（音読）	② ⑤
		7	Lesson2-1 (教科書 p. 17) の Practice の問題をノートに書き込み、Classi で配信された答えを見て、丸付けする。完成したノートを写真に撮って、コンテ	ノート提出	② ⑤

			ンツボックスに提出する。		
第6回	Lesson 2-2 5/27, 5/28	8	Lesson2-2(教科書 p. 18) の例文の音読練習をする。パワーポイントのスライドを見ながら例文を練習する。パワーポイントと音声データは Classi で配信する。また、Classi で確認テストを配信するので、音読練習後、解くこと。	Classi の確認テストの結果 学校再開後の暗唱文テスト（音読）	② ⑤
		9	Lesson2-2(教科書 p. 19) の Practice の問題をノートに書き込み、Classi で配信された答えを見て、丸付けする。完成したノートを写真に撮って、コンテンツボックスに提出する。	ノート提出	② ⑤

*Lesson1-1, 1-2, 2-1, 2-2 の例文の音読練習については、学校再開後に無作為に5文を音読するテストを行う。4枚目のスライドで読めるようにしておくこと。

高森高等学校 3 学年「英語会話」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) UNIT1 Warm up 1 English Around the World
(2) UNIT1 Warm up 1 People Around Us

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・聞き手の立場に立った自己紹介やプレゼンテーションの仕方を理解する。 ・自己紹介や人物紹介を聞き、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語で自己紹介をする。 ・英語で人物紹介をする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組を振り返る。	【知識・技能】 ①聞き手の立場に立った自己紹介やプレゼンテーションを理解することができる。 ②自己紹介や人物紹介を聞き、理解する。 【思考・判断・表現】 ③10文以上の英文で自己紹介を作成し、音読することができる。 ④10文以上の英文で人物紹介を作成し、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画を立て実施し取組を振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	Warm-up 1 English around the World 5/7, 5/11, 5/12, 5/14, 5/18	1	NHK 高校講座英語表現 I の1学期9回 Enjoy Speaking 1 (About yourself (Speaking)) を聞き、ワークシートを埋める。聞き終わったら、理解度チェックの問題に答える。理解度チェックの集計画面をスクリーンショットし、Classi のコンテンツボックスに提出する。	○理解度チェックの集計結果 ○ワークシートの内容 (ワークシートは5月29日に提出する)	① ⑤
		2	NHK 高校講座英語表現 I の1学期10回 Enjoy Writing 1 (About yourself (Writing)) を聞き、ワークシートを埋める。聞き終わったら、理解度チェックの問題に答える。理解度チェックの集計画面を Classi のコンテンツボックスに提出する。	○理解度チェックの集計結果 ○ワークシートの内容 (ワークシートは5月29日に提出する)	① ⑤

		3	教科書 6 ページの A の写真の男性の自己紹介を参考に、自分の自己紹介を 10 文以上で書く。 書いたものを写真で撮影し、Classi のコンテンツボックスに提出する。	○自己紹介の内容	① ③
		4	○完成した自己紹介を 5 回以上音読して練習する。練習後、自己紹介を動画やボイスメモなどに記録し、提出できるようにしておく。 ○自分のことをもっと詳しく話すことができるように、3 つの質問について英語で答えを考える。その 1 つ目を完成させる。書いたものを写真で撮影し、提出する。	○自己紹介の音声 (学校再開後に、教科担当と ALT で採点する。) ○質問に対する答えの内容 ○ワークシートの内容 (ワークシートは 5 月 29 日に提出する)	① ③
		5	3 つの質問の 2 つ目、3 つ目を完成させる。書いたものを写真で撮影し、提出する。	○質問に対する答えの内容 ○ワークシートの内容 (ワークシートは 5 月 29 日に提出する)	③
第 2 回	○自己紹介を聞き理解しよう！ ○自分の感情を表現できるようになろう！ 5/19、	6	○Classi 上の音声データを再生し、教科書 7 ページの①、②のリスニングに挑戦しよう。教科書にメモをしても構わないが、解答は Classi の web テストで解答すること。 ○教科書 10 ページの感情を表す語の意味を辞書で調べる。	Classi 確認テストの結果	②
第 3 回	People Around Us 5/21、5/25、5/26、	7	ワークシートの例を参考に、自分の身の回りの人物や有名人についての発表原稿を完成させる。 書いたものを写真で撮影し、Classi のコンテンツボックスに提出する。(最終的にプレゼンを動画に撮影してもらうので、写	○人物紹介の内容 (下書き)	④ ⑤

			真や CD、雑誌、グッズ等の実物が手元にある人物を紹介してください。)		
		8	皆さんが提出した人物紹介の原稿をチェックし、Classi で返信します。点検された自分の原稿を直し、清書を完成せる。完成した清書を写真で撮影し、提出する。暗唱できるように5回以上練習する。聞く人が分かりやすいような工夫をする。自分がスピーチしているところをスマホで撮影し、良い点・改善点を見つける。 評価の観点にも注しておく。	○人物紹介の内容 (清書)	④ ⑤
		9	評価の観点に注意し、聞き手を意識したスピーチを動画で撮影する。スラスラ発表できるよう練習し、撮影すること。学校再開後、授業で共有し、評価する。服装は制服で。ワークシートに感想を記入する。	スピーチの内容・態度	④ ⑤
第4回	○人物の紹介を聞き取ろう！ ○学校生活や予定について聞き取ろう！ 5/28、	10	○Classi 上の音声データを再生し、教科書 8、9 ページの①、②のリスニングに挑戦しよう。教科書にメモをしても構わないが、解答は Classi の web テストに解答すること。 ○Classi 上の音声データを再生し、教科書 13 ページの START、Key Expressions に挑戦しよう。教科書にメモをしても構わないが、解答は Classi の web テストに解答すること。	Classi 確認テストの結果	②

1. 単元 (1) コンピュータでのデジタル表現 (2) コンピュータの仕組み
(3) 情報セキュリティ (4) 問題解決 (5) アルゴリズム

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・圧縮の方法と種類について理解することができる ・コンピュータの構成について理解することができる ・情報セキュリティを高める方法を学ぶことができる ・問題解決の手法について学ぶことができる ・アルゴリズムの基本的な構造について理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・様々な圧縮の特徴を理解し、適切な圧縮方式を選択することができる ・情報セキュリティを高める方法を実行することができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組むことができ、これからの情報社会を生き抜く力を身につけることができるようになる。	【知識・技能】 ①学んだ用語について正しく理解できている 【思考・判断・表現】 ②様々な圧縮の特徴を理解し、適切な圧縮方式を選択することができる ③情報セキュリティを高める方法を実行することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画的に学習に取り組むことができ、提出物についての期限を守ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7	データの圧縮と効率化	1	・配布プリント 「09 データの圧縮と効率化」穴埋め	Classiによる確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/29 提出)	① ② ④
第2回 5/12	コンピュータの構成	2	・配布プリント 「10 コンピュータの構成、コンピュータの動作」穴埋め ・自分のスマートフォンやパソコンのOSを確認し Classi のアンケートで回答する	Classiによる確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ④

第3回 5/14、	情報セキュリティ	3	・配布プリント 「14 情報システムと情報の流れ、情報セキュリティ (1)」穴埋め ・ウイルスに感染した場合の対処法と挙動について調べて Classi で回答する	配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出) Classi によるアンケート	④ ③
第4回 5/19、	情報セキュリティ	4	・配布プリント 「15 情報セキュリティ (2)」穴埋め	Classi による確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ④
第5回 5/21、	問題解決	5	・配布プリント 「17 問題解決の方法と手順、問題解決の手法 (1)」穴埋め	Classi による確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ④
第6回 5/26、	アルゴリズム	6	・配布プリント 「19 問題解決のための手段」穴埋め	配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	④
第7回 5/28、	アルゴリズム	7	・配布プリント 「20 アルゴリズムとは、アルゴリズムの基本構造 (1)」穴埋め	配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	④

1. 単元 料理様式とテーブルコーディネート

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・和・洋・中それぞれの料理様式の特徴を理解する ・マナーについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・TP0 に合わせた料理・盛り付け・テーブルコーディネートを考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・興味をもって学習に取り組めたか振り返る	【知識及び技能】 ①和・洋・中それぞれの料理様式の特徴を理解できる ②マナーについて理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ③TP0 に合わせた料理・盛り付け・テーブルコーディネートを考えることができるようになる 【学びに向かう力、人間性等】 ④興味をもって学習に取り組めたか振り返ることができる

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/20	料理様式と献立	1	・教科書 P. 120～129 を読む ・それぞれの特徴をまとめる	・ワークシート(コン テンツボックス) ・確認テスト	①
		2	・調べ学習(調べ学習)		② ④
第2回 5/27	テーブルコー ディネート	3	・5W1H に沿ってテーブルコー ディネートを計画する	・ワークシート(コン テンツボックス) ・振り返りアンケート	③
		4			④

1. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価 規準
第1回 5/8	1週間の学習の振り返りと、手帳の整理	1	1週間の学習を振り返り、整理しましょう。また、手帳の整理、来週の授業の確認をしましょう。		
第2回 5/15	1週間の学習の振り返りと、手帳の整理	2	1週間の学習を振り返り、整理しましょう。また、手帳の整理、来週の授業の確認をしましょう。		
第3回 5/22	1週間の学習の振り返りと、手帳の整理	3	1週間の学習を振り返り、整理しましょう。また、手帳の整理、来週の授業の確認をしましょう。		

高森高等学校 3 学年「総合的な学習の時間」シラバス（5 月分）

1. 単元

「将来を見つめる」をテーマに、各教科及び特別活動で身に付けた知識や技能を、上級学校での学習や社会生活において活用できる能力に高める。また、実践的な活動を通して情報発信能力、コミュニケーション能力を高める。

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	【知識・技能】 1 探究の意義や価値を理解できる。 【思考・判断・表現】 2 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3 探究に主体的・協働的に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
1 0508	探究について1	1 NHK高校講座仕事の現場 real「第1回これからの仕事は変わっていく!!」を視聴する。 2 同学習メモを見て理解を深める。 3 Classi で確認テストを解く。	Classi で配信される確認テストによる。	1 2 3
2 0515	探究について2	1 Classi で配信されたアンケートに就職、進学に向け、自分がこれから特に取り組まなければならないことを答える。	Classi で配信されるアンケートによる。	1 2 3
3 0522	探究について3	1 前回考えた取り組みたいことを元に、6月5日、12日、19日、26日の総合的な学習の時間の計画をClassi のアンケートで答える。	Classi で配信されるアンケートによる。	1 2 3